

**排水管理責任者資格認定講習  
確認テスト・解答用紙**

正答数(15問中)	正答率(%)

<p><b>【問1】</b> (教材：下水道における水質規制－なぜ下水道において水質規制が必要か) 下水道における水質規制が必要な理由について述べた以下の文章のうち、誤っているものはどれか。</p> <p>A 下水処理場では微生物による生物処理を行っており、微生物が処理できる能力を超える負荷量の汚濁物質が流入すると、処理しきれず下水処理場に適用される汚濁物質の排水基準を超過する恐れがあるため。</p> <p>B 中性の下水によりコンクリート製の下水管が損傷したり、下水に含まれる油により下水管に詰まりが生じたりするため。</p> <p>C 下水に重金属類などが多く混入すると下水汚泥の最終処分形態である脱水汚泥や焼却灰に含まれる重金属類などの濃度が受け入れの基準を超え、処分ができなくなる恐れがあるため。</p>	<p style="text-align: center;">解答欄</p>	← ク リ ッ ク し て 解 答	
<p><b>【問2】</b> (教材：下水道における水質規制－下水道における水質規制のしくみ) 下水道に排除する下水に対する水質規制について述べた以下の文章のうち、正しいものはどれか。</p> <p>A 全ての事業場が下水道法による排除基準の適用を受ける。</p> <p>B 特定事業場には下水道条例による除害施設の設置基準は適用されない。</p> <p>C 特定事業場の下水の水質が排除基準を満足しない場合、特定施設の使用停止命令や排水停止命令を受けることがある。</p>	<p style="text-align: center;">解答欄</p>		← ク リ ッ ク し て 解 答
<p><b>【問3】</b> (教材：下水道における水質規制－下水にかかる水質基準項目) 特定事業場が下水道へ排除する下水にかかる基準（排除基準）について述べた以下の文章のうち、誤っているものはどれか。</p> <p>A 下水にかかる水質基準項目には下水処理場で処理できない物質についての基準も定められている。</p> <p>B 生物化学的酸素要求量 (BOD)の下水道への排除基準は自治体ごとに異なる。</p> <p>C 下水道へ排除する下水にかかるシアン化合物の排除基準は下水処理場の放流水にかかる排水基準よりも緩やかである。</p>	<p style="text-align: center;">解答欄</p>		
<p><b>【問4】</b> (教材：下水道における水質規制－下水にかかる水質基準項目) 神戸市における下水道へ排除する下水の排除基準について述べた以下の文章のうち、誤っているものはどれですか。</p> <p>A 窒素含有量及びリン含有量についての排除基準は定められていない。</p> <p>B 砒素及びその化合物については、ポートアイランド処理場、玉津処理場、流域下水道の処理区にある事業場にはより厳しい排除基準が適用されている。</p> <p>C ノルマルヘキサン抽出物質のうち、鉱油類含有量の排除基準は 5mg/L 以下である。</p>	<p style="text-align: center;">解答欄</p>		← ク リ ッ ク し て 解 答

<p><b>【問5】</b>（教材：下水道における水質規制－行政処分と罰則）</p> <p>排除基準に違反した場合の下水道法に基づく行政処分と罰則について述べた以下の文章のうち、正しいものはどれか。</p> <p>A 故意に犯した排除基準違反だけが罰則の適用対象となる。</p> <p>B 排除基準違反に対する罰則は法人の代表者だけでなく法人自体も対象となる。</p> <p>C 排除基準を満足しない排水を一度排除しただけでは罰則の対象とならない。</p>	<p>解答欄</p>	<p>← ク リ ック し て 解 答</p>

<p><b>【問6】</b>（教材：事業場における排水管理－事業場における排水管理体制）</p> <p>排水管理責任者について述べた以下の文章のうち、誤っているものはどれか。</p> <p>A 排水管理責任者の役割は、事業場排水の水質管理の実務で、その業務は除害施設等の管理のみならず生産工程の把握から水質の管理にまで広範囲にわたる。</p> <p>B 排水管理責任者がその業務を行うのに適していないと公共下水道管理者（市長）が認めたときは、排水管理責任者の変更を命じることがある。</p> <p>C 選任する排水管理責任者としての資格要件はない。</p>	<p>解答欄</p>	<p>← ク リ ック し て 解 答</p>

<p><b>【問7】</b>（教材：事業場における排水管理－事業場内の排水の把握）</p> <p>事業場内の排水の水量及び水質の把握について述べた以下の文章のうち、誤っているものはどれか。</p> <p>A 製造部門には頼らずに、排水管理部門が単独で排水の水量及び水質の把握を行うことが望ましい。</p> <p>B 操業時間内で連続して発生する排水の水量・水質を優先して把握する必要があるが、一日の限られた時間にのみ発生する排水についても水質の把握をすることも必要である。</p> <p>C 工場を新設する場合は、同種同規模の他工場の例等について十分調査し、排水量と水質を推定する。</p>	<p>解答欄</p>	<p>← ク リ ック し て 解 答</p>

<p><b>【問8】</b>（教材：事業場における排水管理－工程の改善）</p> <p>排水管理における工程の改善について述べた以下の文章のうち、誤っているものはどれか。</p> <p>A 排水処理施設の計画に先立って、積極的に工程の改善を検討することが望ましい。</p> <p>B 排水の回収及び再利用についても製造工程と同様にマニュアル化を図るとよい。</p> <p>C 比較的汚れの少ない排水を汚染度の高い工程の洗浄水などに再利用するのは、排水処理コストが余分にかかるので避けるべきである。</p>	<p>解答欄</p>	<p>← ク リ ック し て 解 答</p>

<p><b>【問 9】</b>（教材：事業場における排水管理－水質の測定・記録）</p> <p>排水の水質の測定・記録について述べた以下の文章のうち、正しいものはどれか。</p> <p>A 特定施設のある工場・事業場は排水の水質を測定する法令上の義務がある。</p> <p>B 水質測定結果の記録は下水道法に基づく規則で定められた水質測定記録表により記録し、その記録を1年間保存する必要がある。</p> <p>C 神戸市において下水道に排除する下水の水質に関する必要な測定回数は兵庫県が定めている。</p>	解答欄	← ク リ ツ ク し て 解 答

<p><b>【問 1 0】</b>（教材：事業場における排水管理－水質違反への対応）</p> <p>水質違反への対応について述べた以下の文章のうち、誤っているものはどれか。</p> <p>A 水質違反時の連絡・指揮体制図を事前に作成しておくことが望ましい。</p> <p>B 自主分析で水質違反が分かったときは原因が判明するまで公共下水道管理者（市長）に連絡すべきではない。</p> <p>C 排水処理施設を有する事業場では薬品タンクへの補充忘れや pH 電極の維持管理不良など人為的原因が水質違反の原因としてよく見られる。</p>	解答欄	← ク リ ツ ク し て 解 答

<p><b>【問 1 1】</b>（教材：下水道法・神戸市下水道条例に基づく届出）</p> <p>下水道法における特定施設設置届出の提出期限について、以下のうち、正しいものはどれか。</p> <p>A 設置する特定施設に係る工事着工予定日の 60 日前までに提出する。</p> <p>B 設置する特定施設に係る工事完了予定日の 60 日前までに提出する。</p> <p>C 設置する特定施設の使用開始予定日の 60 日前までに提出する。</p>	解答欄	← ク リ ツ ク し て 解 答

<p><b>【問 1 2】</b>（教材：下水道法・神戸市下水道条例に基づく届出）</p> <p>特定施設にかかる届出について述べた以下の文章のうち、誤っているものはどれか。</p> <p>A 特定事業場が新たに排水処理施設を設置する、または、排水処理施設を変更する場合に必要な届出は「特定施設の構造等変更届出」である。</p> <p>B 特定施設設置届出または構造等変更届出の審査の結果、排除基準を守ることができないと認められるときは、排水の処理方法についても計画の変更命令を受けられることがある。</p> <p>C 発生する廃液を全て回収する特定施設を設置する場合、特定施設設置届出を提出する必要はない。</p>	解答欄	← ク リ ツ ク し て 解 答

<p><b>【問 1 3】</b>（教材：排水処理施設の仕組みと維持管理）</p> <p>油水分離槽の構造と維持管理について述べた以下の文章のうち、正しいものはどれか。</p> <p>A 油水分離槽の容量は一定以上の槽の容量があれば、排水量が多くても大きくする必要はない。</p> <p>B 油水分離槽に油吸着マットを設置すれば、油吸着マットは永久に油を吸着する。</p> <p>C 油が下水道に流出しないよう、油水分離槽の油の溜まり具合を日常的に監視し、定期的に油を回収することが重要である。</p>	<p>解答欄</p>	<p>← ク リ ツ ク し て 解 答</p>

<p><b>【問 1 4】</b>（教材：排水処理施設の仕組みと維持管理）</p> <p>調整槽について述べた以下の文章のうち、正しいものはどれか。</p> <p>A 調整槽を設置すれば、必ず排除基準を守ることができる。</p> <p>B 有機物を含む排水を長時間貯留すると、アルコール分や糖類の分解により有機酸を生じて pH が低下することがある。</p> <p>C 調整槽は点検などの維持管理の必要はない。</p>	<p>解答欄</p>	<p>← ク リ ツ ク し て 解 答</p>

<p><b>【問 1 5】</b>（教材：排水処理施設の仕組みと維持管理）</p> <p>中和処理に用いる pH 電極について述べた以下の文章のうち、正しいものはどれか。</p> <p>A 予備の pH 電極を購入して保管しておくことが望ましい。</p> <p>B pH 電極の先端のガラス電極の清掃はブラシでゴシゴシ洗う。</p> <p>C pH 電極の洗浄は pH 標準液による校正を行った後に行う。</p>	<p>解答欄</p>	<p>← ク リ ツ ク し て 解 答</p>